

神戸市内景況・雇用動向調査

第43回 結果報告書

令和6年9月

神戸市経済観光局

1. 調査の概要	1
2. 神戸経済の動向（2024年9月）～結果の概要～	3
（1）業況	6
（2）生産・売上	8
（3）原材料・仕入れ価格	10
（4）採算	12
（5）資金繰り	14

1. 調査の概要

- (1) 目的・内容 市内企業の短期的な景況と雇用に関する動向を把握する目的で、市内企業に対するアンケート調査、ヒアリング調査を一連の「神戸市内景況・雇用動向調査」として実施する。
- (2) 調査対象 市内に本社のある企業2,000社（回収数788、回収率：39.4%）

回収状況	市内本社企業			合計
	大規模	中規模	小規模	
製造業	3	61	100	164 (400)
食料品	2	9	9	20 (34)
化学・石油	0	6	12	18 (42)
ゴム	1	5	13	19 (58)
鉄鋼・金属	0	11	23	34 (49)
一般機械	0	11	4	15 (84)
電信・輸送	0	7	6	13 (60)
その他	0	12	33	45 (73)
非製造業	9	266	349	624 (1,600)
建設業	0	9	68	77 (125)
運輸・倉庫業	0	13	16	29 (70)
卸売業	0	36	40	76 (113)
小売業	3	53	75	131 (310)
不動産業	0	11	45	56 (111)
情報サービス	1	18	16	35 (36)
宿泊・飲食	1	45	16	62 (311)
対事業所	2	55	40	97 (286)
対個人	2	26	33	61 (238)
合計	12	327	449	788 (2,000)

(定義)

() 内は調査対象企業数

小規模・・・市内に本社があり、以下に該当するもの

（製造業その他）従業員数20人以下の企業

（商業・サービス業）従業員5人以下の企業

中規模・・・市内に本社があり、小規模に該当しない以下のもの

（製造業その他）資本金3億円以下又は従業員数300人以下

（卸売業）資本金1億円以下又は従業員数100人以下

（小売業）資本金5千万円以下又は従業員数50人以下

（サービス業）資本金5千万円以下又は従業員数100人以下

大規模・・・市内に本社があり、小規模、中規模のいずれにも該当しないもの

(分類)

製造業（7分類）食料品等、化学・石油製品等、ゴム製品製造業、鉄鋼・金属等、一般機械器具、電信・輸送機器等、その他の製造業

非製造業（9分類）建設業、運輸・倉庫業、卸売業、小売業、不動産業、情報サービス、宿泊・飲食サービス、その他の対事業所サービス、その他の対個人サービス

(3) 調査期間 2024年9月1日（日）～2024年9月20日（金）

(4) 集計・ 報告書の数値は、DI(ディフュージョンインデックス)を用いた。

表示方法

$$DI = X - Y$$

X = 上昇・増加・過剰・改善・過大と回答した企業の割合（%）

Y = 下降・減少・悪化・不足と回答した企業の割合（%）

※DIおよび時系列比較項目については無回答を除いて集計した。

※報告書内のグラフおよび数表の値は、単位未満を四捨五入しており、回答の小計および合計値が100%にならない場合がある。

2. 神戸経済の動向（2024年9月）～結果の概要～

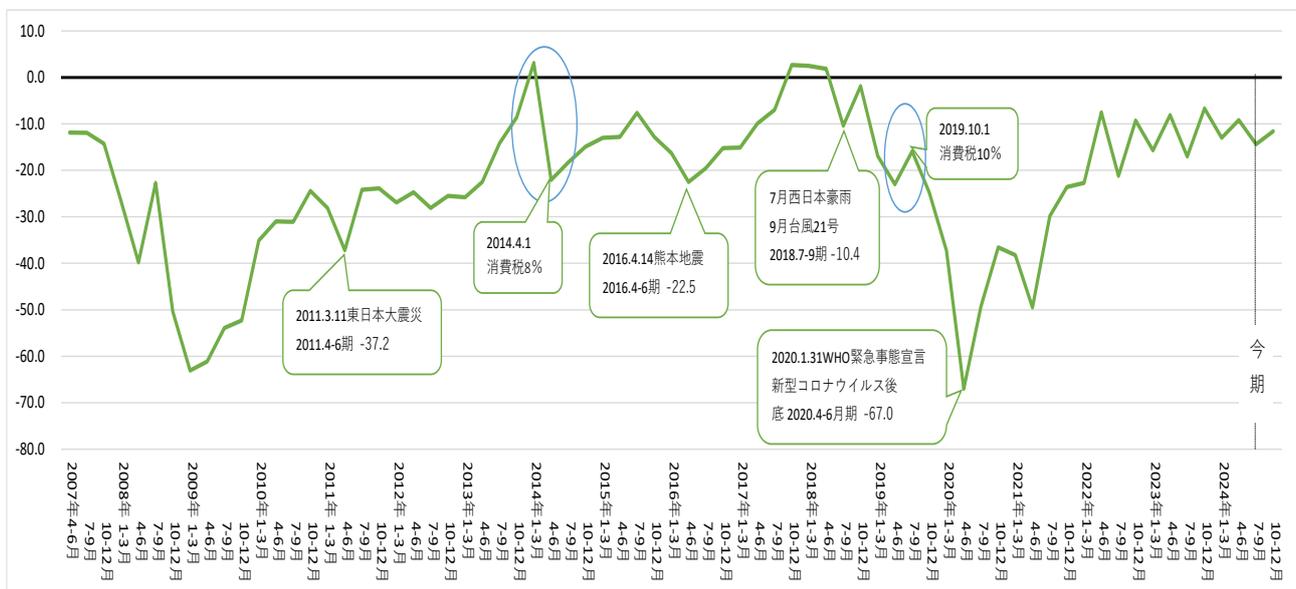
自社業況DIは、全産業でマイナス 14.4 ポイントと、前期より 5.2 ポイントの低下

先行きについて、来期は増加傾向に転じる見通し

- 今期（2024年7～9月期）の業況DIは▲14.4と、前期（▲9.2）と比べて5.2ポイント低下した。
- 業種別では、製造業の今期の業況DIは▲21.3と、前期（▲12.2）より9.1ポイント低下した。
非製造業の今期の業況DIは▲12.5と、前期（▲8.5）より4.0ポイント低下した。
- 規模別では、大規模企業の今期の業況DIは▲8.3と、前期（25.0）より33.3ポイント低下した。
中規模企業の業況DIは1.5と、前期（▲1.2）より2.7ポイント増加した。小規模企業の業況DIは▲26.0と、前期（▲16.0）より10.0ポイント低下した。
- 先行きについて、来期（2024年10～12月期）の業況DIは▲11.6と、今期（▲14.4）より2.8ポイント増加する見通し。

【調査対象】 市内企業2,000社（回収数：788社、回収率：39.4%）

【調査時期】 2024年9月1日（日）～2024年9月20日（金）

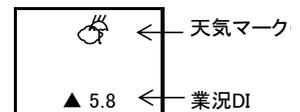


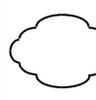
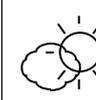
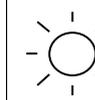
区分1	区分2	業況DI（上昇－下降）		
		2024.4～6	2024.7～9	2024.10～12 （予測）
全体		-9.2	-14.4	-11.6
規模別	大規模	25.0	-8.3	0.0
	中規模	-1.2	1.5	2.7
	小規模	-16.0	-26.0	-22.3
業種別	製造業	-12.2	-21.3	-10.5
	非製造業	-8.5	-12.5	-11.8

【業種別動向】(前期:令和6年4月~6月期、今期:令和6年7月~9月期、来期:令和6年10月~12月期)

区分1	区分2	前期	今期	来期	業種別のヒアリング対象企業のコメント
全体		 ▲ 9.2	 ▲ 14.4	 ▲ 11.6	以下、各業種におけるヒアリングのコメントを掲載。
製造業	食料品等	 ▲ 5.0	 ▲ 5.0	 20.0	・商品の値上げをその都度できるわけではなく景況は下降しており、来期も原材料値上がりの影響を受ける厳しい環境。(食料品製造業) ・原材料の価格高騰があるものの、価格転嫁により業況は維持されている為、来期も同様の安定が続くと見込んでいる。(食料品製造業)
	化学・石油製品等	 5.5	 ▲ 22.2	 11.1	・原材料価格の上昇と取引先の高齢化が業況に悪影響を及ぼしており、来期も同様の厳しい状況が続くと見込んでいる。(化学工業) ・大企業優遇政策やコスト上昇の影響を強く受けている。来期も改善の見込みが薄く、海外経済の動向が鍵となる。(プラスチック製品製造業)
	ゴム製品製造業	 ▲ 21.0	 ▲ 52.6	 ▲ 26.3	・原材料・仕入価格高騰の影響は小さいが、受注が減少している。来期も同様に減少していくと予測する。(ゴム製品製造業) ・原材料費の高騰と消費者の購買意欲低下により下降。消費者の購買意欲低下は来期も続くとして予測。(ゴム製品製造業)
	鉄鋼・金属等	 ▲ 8.9	 ▲ 14.7	 ▲ 17.7	・原材料・仕入価格は上がっているが、価格に転嫁により売上を伸ばし、来期にも期待している。(鉄鋼業) ・新規受注は原材料の値上げを価格に転嫁できているが既存受注に関しては厳しく、来期の見込みは不明。(非鉄金属製造業)
	一般機械器具	 0.0	 0.0	 ▲ 6.6	・今期は受注減少が続いた。来期も原材料の高騰が影響して下降していくと予測している。(はん用機械器具製造業) ・取引先の倒産が売上に大きな影響を与えており、今後もその影響が続く為、下降傾向と予測している。(業務用機械器具製造業)
	電信・輸送機器等	 ▲ 61.5	 ▲ 30.7	 ▲ 23.1	・為替の影響が業況に好影響を及ぼしており、来期も同様の改善が続くと見込んでいる。(輸送用機器器具製造業) ・受注の増加により、原材料と仕入価格上昇の影響を受けていない。来期以降も同様の好調が続くと見込んでいる。(輸送用機器器具製造業)
	その他の製造業	 ▲ 11.1	 ▲ 24.5	 ▲ 18.2	・印刷業界全体がペーパーレス化の影響により縮小。来期も好材料は無く、業況は下降に向かっている。(印刷業) ・日本の問屋が海外から輸入する革の価格が値上がりしていることによって業況は下降。来期も回復は見込めない。(なめし革・同製品・毛皮製造業)
非製造業	建設業	 ▲ 26.0	 ▲ 5.2	 ▲ 13.0	・公共工事が全体を通して減っており、大阪万博が一段落するまではこの状況が続くと予測している。(建設業) ・民間事業者からの受注増加が売上を押し上げ、価格転嫁も行いやすく、来期も昇傾向にあると予測している。(建設業)
	運輸・倉庫業	 ▲ 10.3	 ▲ 24.1	 ▲ 17.3	・インバウンド需要を期待するも、受注は伸びておらず、来期も同様の状況が続くと見込んでいる。(道路旅客運送業) ・一時増加した受注は減少を辿って、売上が低迷している状況。来期もこの傾向が続くと予測している。(梱包業)
	卸売業	 ▲ 7.9	 ▲ 14.5	 ▲ 11.8	・円安と原材料費の高騰により、経営環境は厳しい状況。特に為替の不安定さが今後も業況に悪影響を与えると予測。(繊維・衣服等卸売業) ・業界全体の高齢化により廃業する業者が増加しているため、今期の景況が下降しており、今後もこの流れが続くと見ている。(飲食品卸売業)
	小売業	 ▲ 13.0	 ▲ 28.2	 ▲ 19.0	・季節的な要因が売上と与える影響は大きく、来期も気候変動によって業績が変化するため、予測は難しい。(織物・衣服・身の回り品小売業) ・コロナ禍が収束に向かっている事で売上が伸び、仕入価格の上昇分も価格転嫁できている為、業況は上向き予測。(その他の小売業)
	不動産業	 ▲ 3.6	 ▲ 9.0	 ▲ 20.0	・コストの上昇と取引件数の減少が売上に大きな影響を与えており、今後も厳しい経営環境が続くと予測している。(不動産管理業) ・今期は前期より売上が下降したが、来期には上昇の見通しが立っており、長期目線では安定した推移を維持している。(不動産賃貸業)
	情報サービス	 ▲ 14.3	 ▲ 14.3	 2.8	・経営環境は決して良くないが、価格転嫁を実施する事で売上を維持している。(情報サービス業) ・売上の低迷と市場の冷え込みにより、経営環境は厳しい状況にあり、今後の劇的な改善も見込めない。(インターネット不随サービス業)
	宿泊・飲食	 11.5	 6.5	 1.6	・メリケンパーク付近にアリーナが建設中でアクセスが良くなったため人の流れが変わり、売り上げも増え業況は上昇している。(飲食店) ・天候やコロナの影響で予約キャンセルが降った事が下降の要因。原材料、仕入れ価格の上昇も少なからず影響している。(飲食店)
	対事業所サービス	 ▲ 6.2	 ▲ 9.3	 ▲ 12.4	・経営環境は厳しく、原材料費や人件費の上昇も要因としてはあるが、受注の減少が続いており、来期も厳しい。(専門サービス業) ・環境エネルギー関連製品の供給不足により売上が下降傾向にあり、今期納品のものが来期にずれ込む事が影響している。(専門サービス業)
	対個人サービス	 ▲ 1.6	 ▲ 6.5	 ▲ 6.6	・顧客層の高齢化が進行しているため、今期の客足が減少し、業況が下降している。来期移行も客足の減少が予測される。(理美容業) ・近隣の同業者の閉店により自社の売上が増加し、売上が上昇しているが、業界全体としては下降傾向にある。(浴場業)

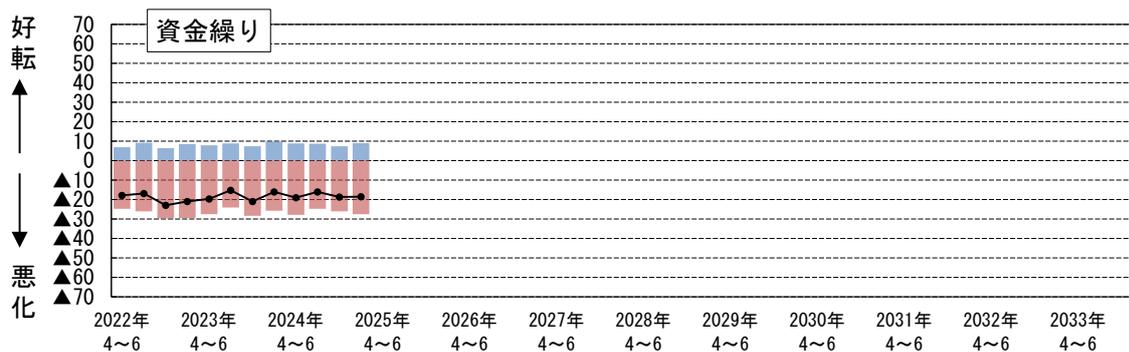
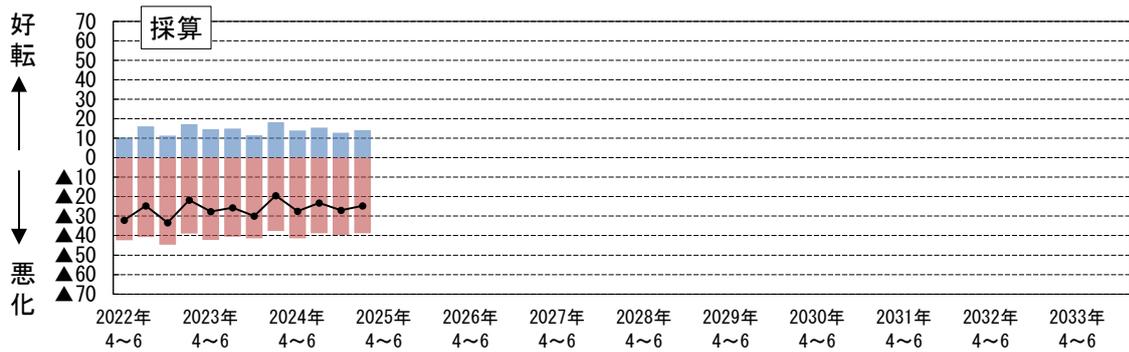
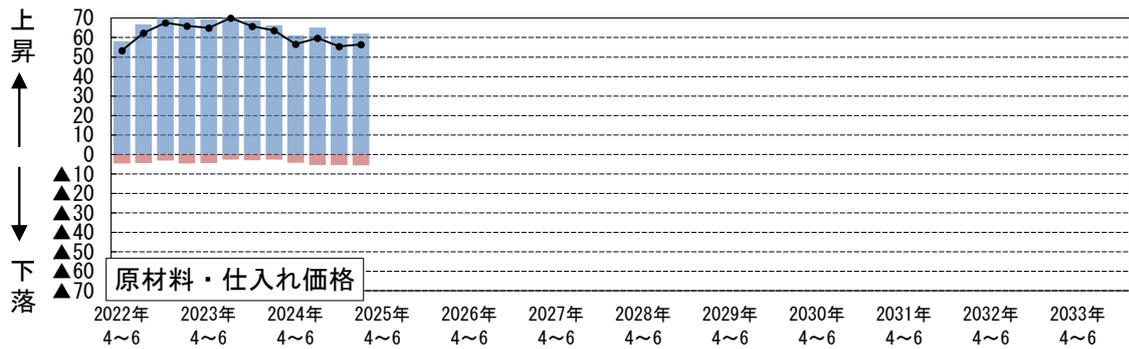
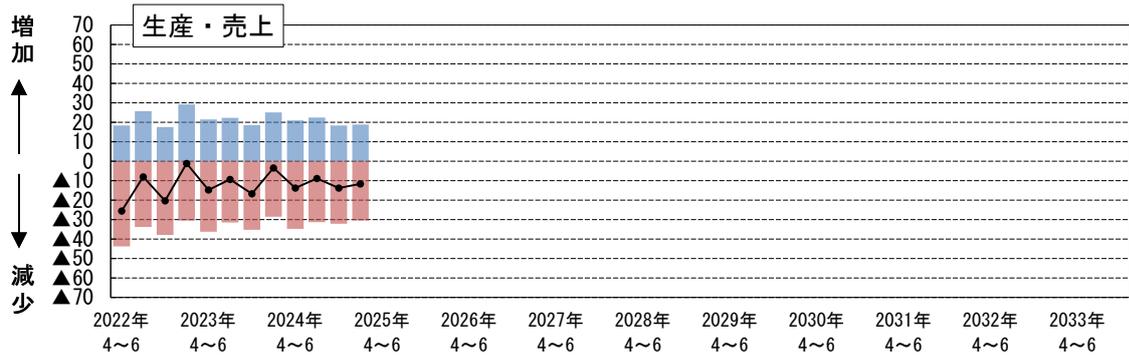
※今期のDI(全規模)が前期よりも10ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。
※表中の見方は右図の通り。



DI	▲60.1以下	▲60.0~▲40.1	▲40.0~▲20.1	▲20.0~▲5.1	▲5.0~5.0	5.1~20.0	20.1以上
天気							

(参考資料)

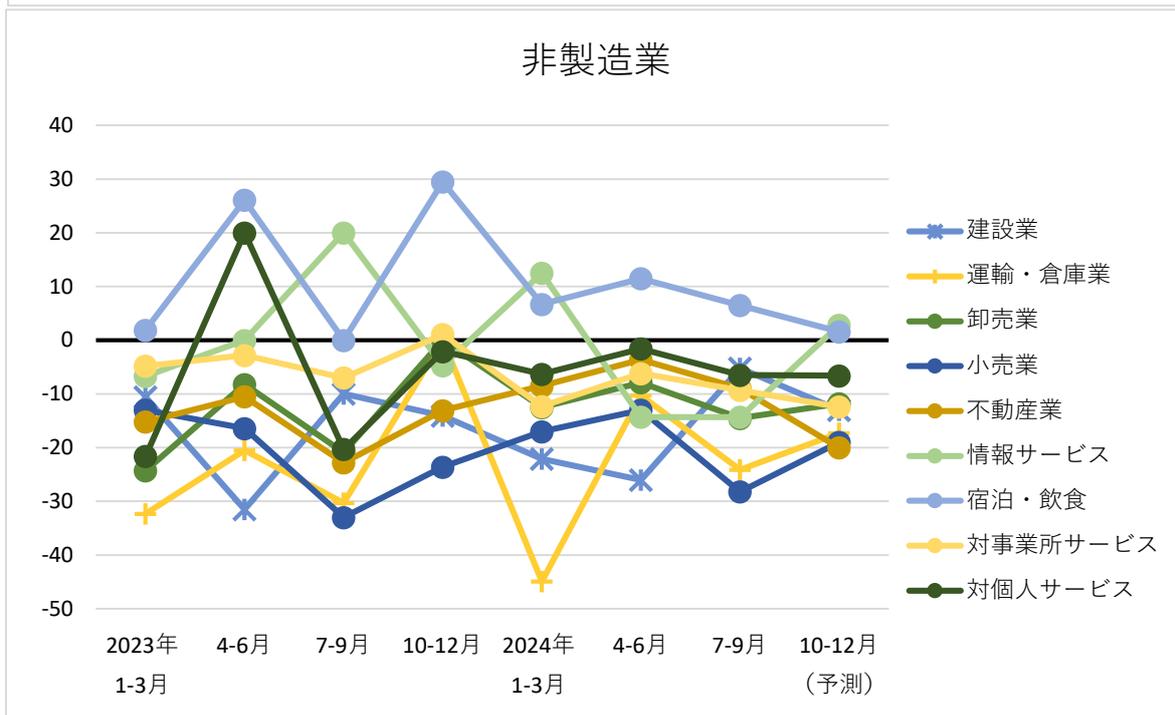
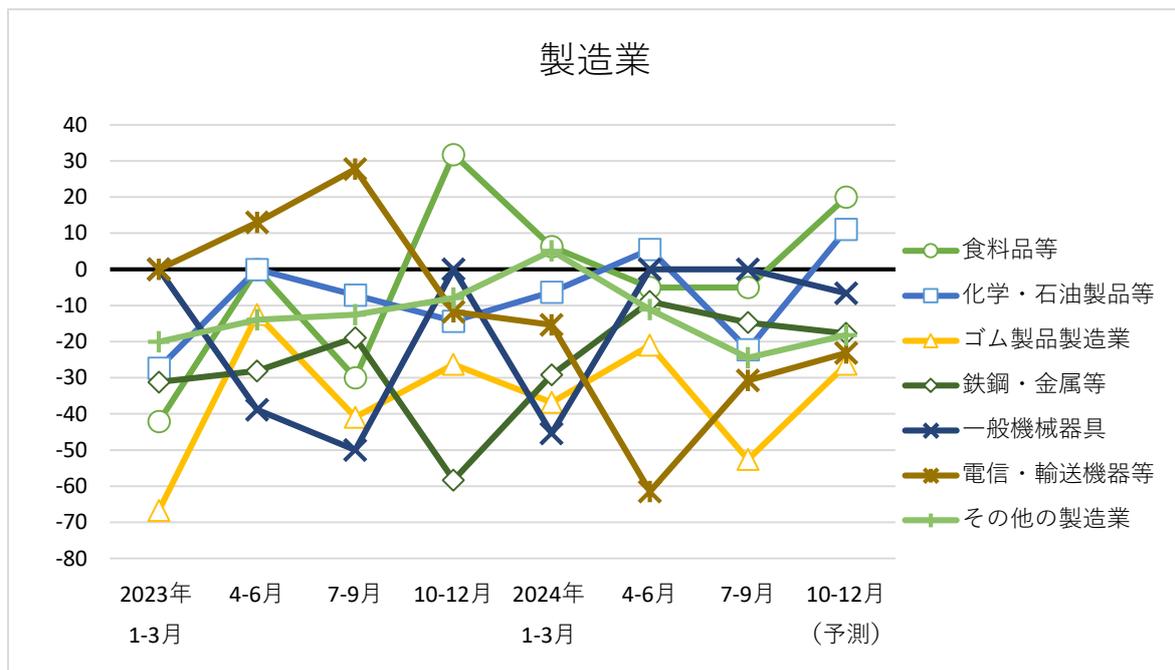
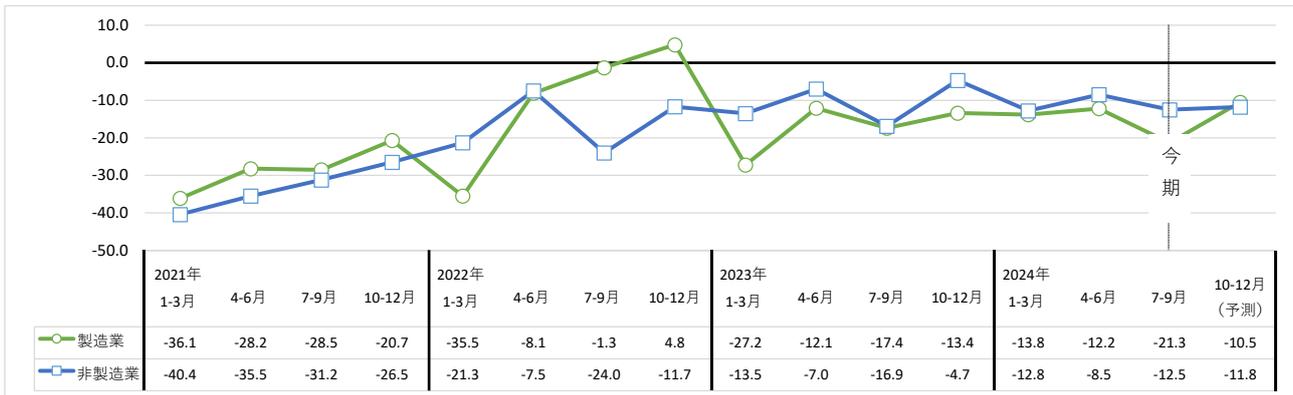
主要指標の推移



(1) 業況

「各四半期の業況が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下降と回答」 (%)

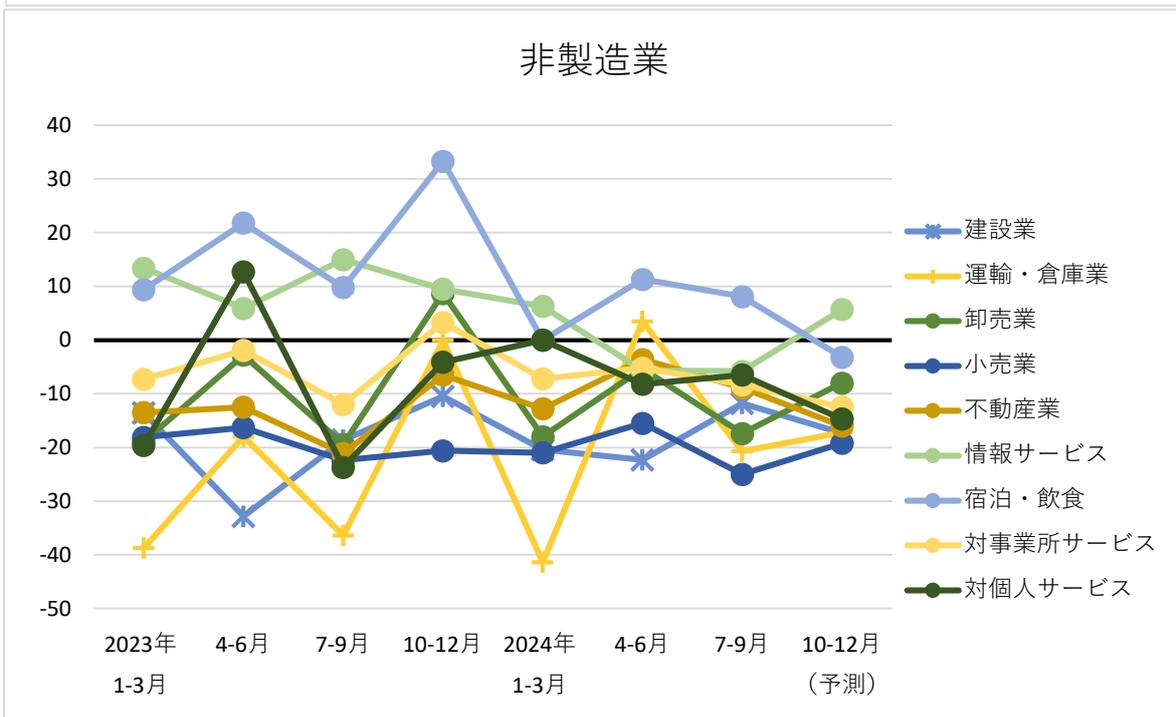
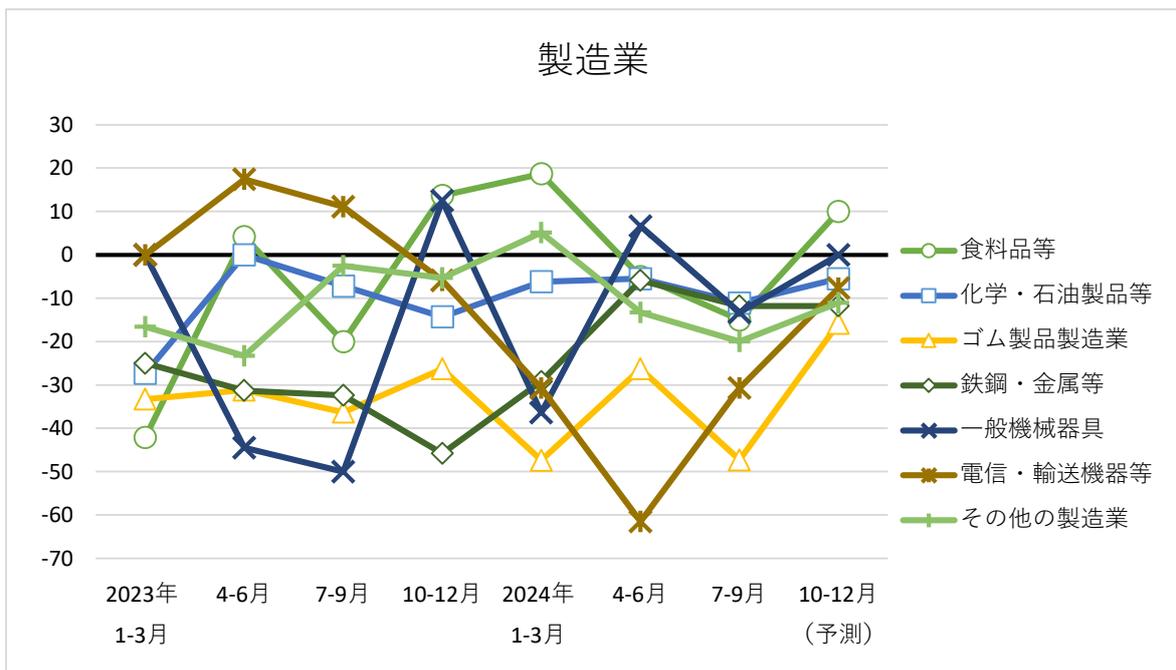
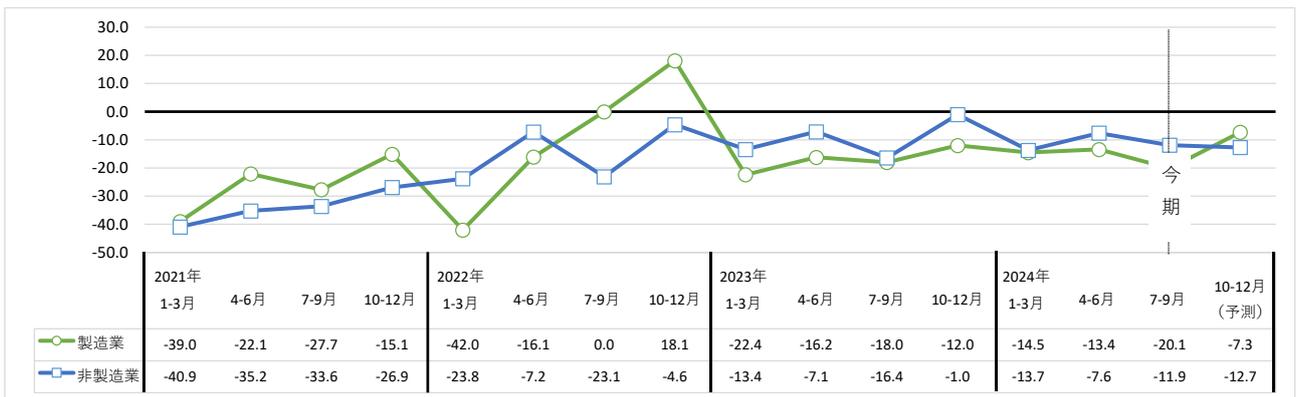


区分1	区分2	区分3	業況DI（上昇一下降）			
			2024.4~6	2024.7~9	2024.10~12 （予測）	
全体			-9.2	-14.4	-11.6	
規模別	大規模		25.0	-8.3	0.0	
	中規模		-1.2	1.5	2.7	
	小規模		-16.0	-26.0	-22.3	
業種別	製造業		-12.2	-21.3	-10.5	
		食料品等	-5.0	-5.0	20.0	
		化学・石油製品等	5.5	-22.2	11.1	
		ゴム製品製造業	-21.0	-52.6	-26.3	
		鉄鋼・金属等	-8.9	-14.7	-17.7	
		一般機械器具	0.0	0.0	-6.6	
		電信・輸送機器等	-61.5	-30.7	-23.1	
		その他の製造業	-11.1	-24.5	-18.2	
		非製造業		-8.5	-12.5	-11.8
		建設業		-26.0	-5.2	-13.0
		運輸・倉庫業		-10.3	-24.1	-17.3
		卸売業		-7.9	-14.5	-11.8
		小売業		-13.0	-28.2	-19.0
		不動産業		-3.6	-9.0	-20.0
		情報サービス		-14.3	-14.3	2.8
		宿泊・飲食		11.5	6.5	1.6
	対事業所サービス		-6.2	-9.3	-12.4	
	対個人サービス		-1.6	-6.5	-6.6	

(2) 生産・売上

「各四半期の生産・売上が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「増加と回答」 (%) - 「減少と回答」 (%)

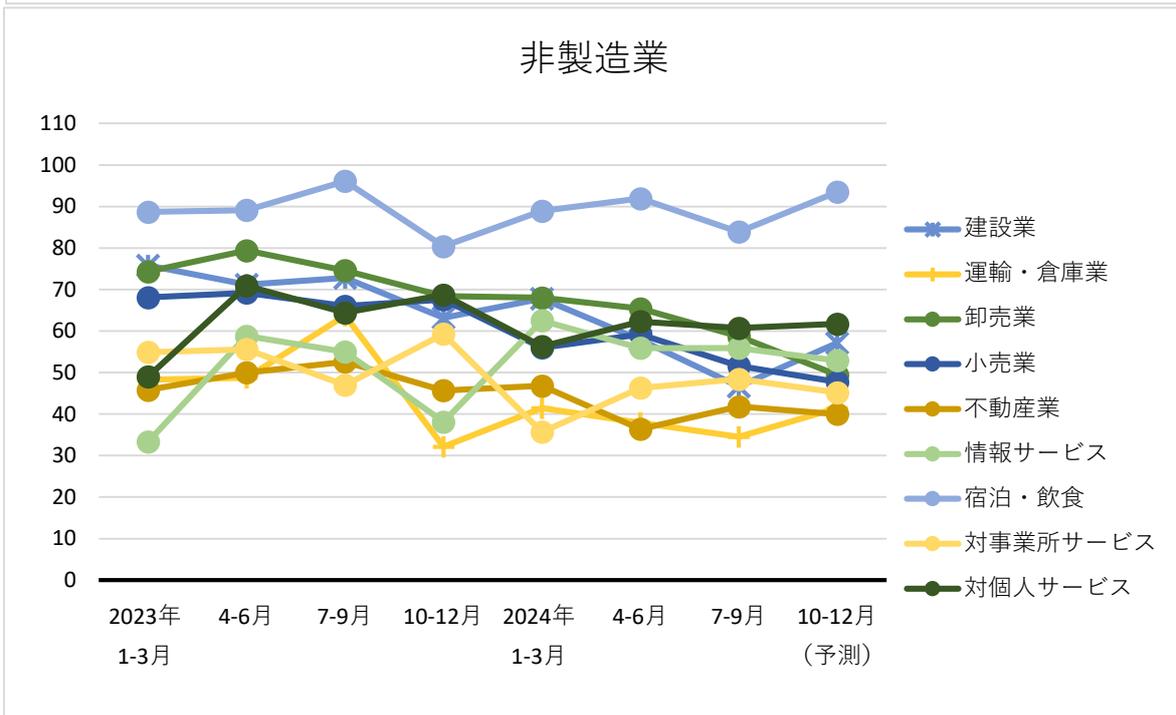
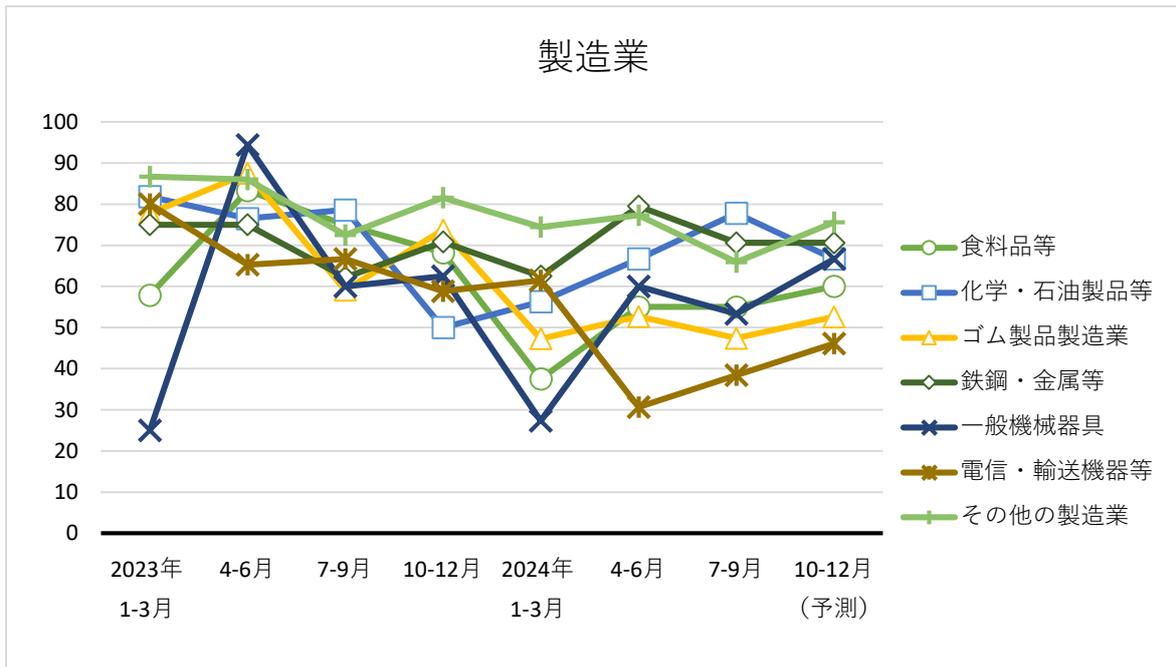
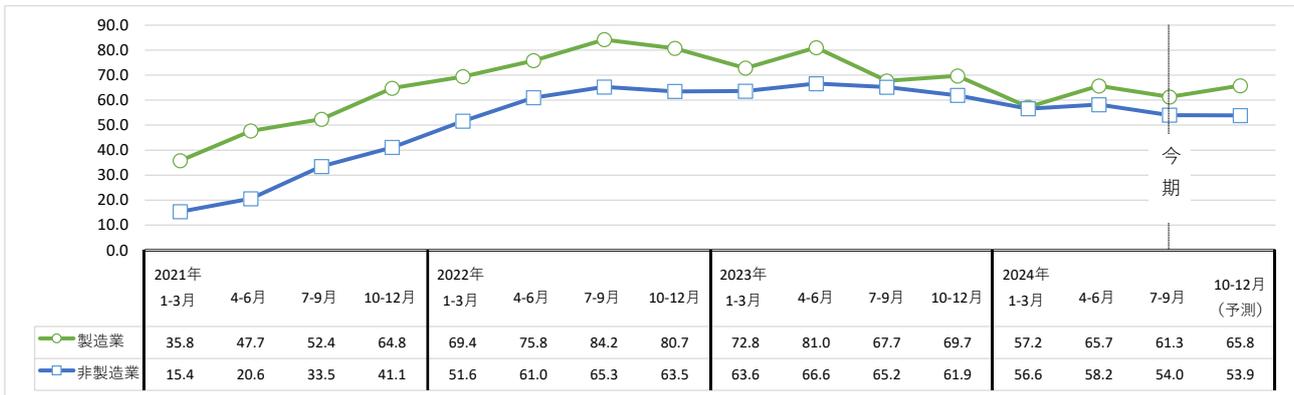


区分1	区分2	区分3	生産・売上DI（増加－減少）			
			2024.4~6	2024.7~9	2024.10~12 （予測）	
全体			-8.9	-13.7	-11.6	
規模別	大規模		16.6	8.3	0.0	
	中規模		0.3	1.9	2.1	
	小規模		-16.2	-25.6	-22.0	
業種別	製造業		-13.4	-20.1	-7.3	
		食料品等	-5.0	-15.0	10.0	
		化学・石油製品等	-5.5	-11.1	-5.5	
		ゴム製品製造業	-26.3	-47.3	-15.8	
		鉄鋼・金属等	-5.9	-11.8	-11.8	
		一般機械器具	6.6	-13.3	0.0	
		電信・輸送機器等	-61.5	-30.7	-7.7	
		その他の製造業	-13.3	-20.0	-11.1	
		非製造業		-7.6	-11.9	-12.7
		建設業		-22.3	-11.8	-17.3
		運輸・倉庫業		3.5	-20.7	-17.2
		卸売業		-5.3	-17.4	-8.0
		小売業		-15.5	-25.0	-19.2
		不動産業		-3.6	-8.9	-16.0
		情報サービス		-5.7	-5.8	5.7
		宿泊・飲食		11.3	8.1	-3.2
	対事業所サービス		-5.2	-8.3	-12.5	
	対個人サービス		-8.2	-6.5	-14.7	

(3) 原材料・仕入れ価格

「各四半期の原材料・仕入れ価格が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下落と回答」 (%)

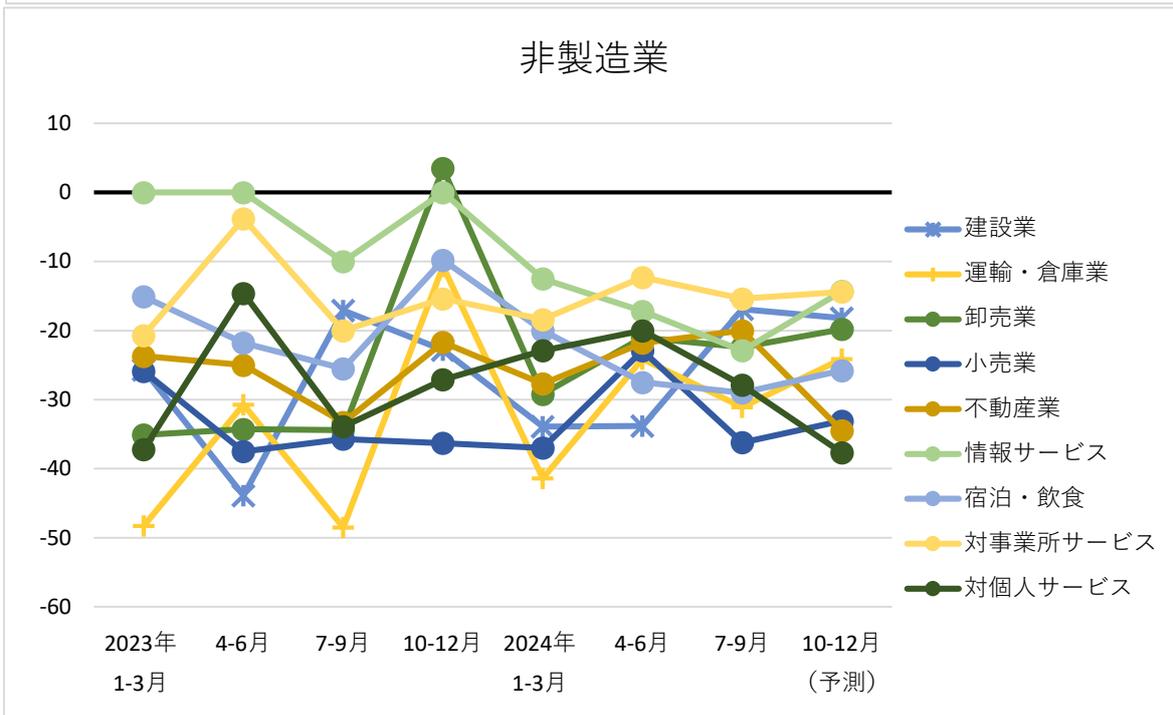
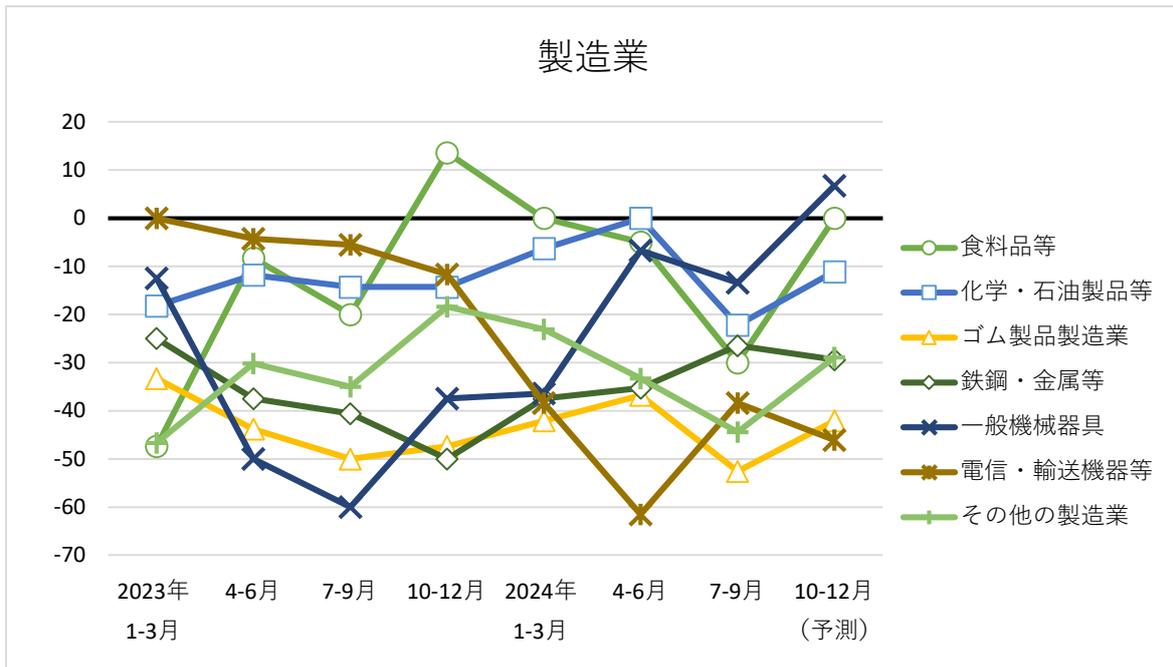
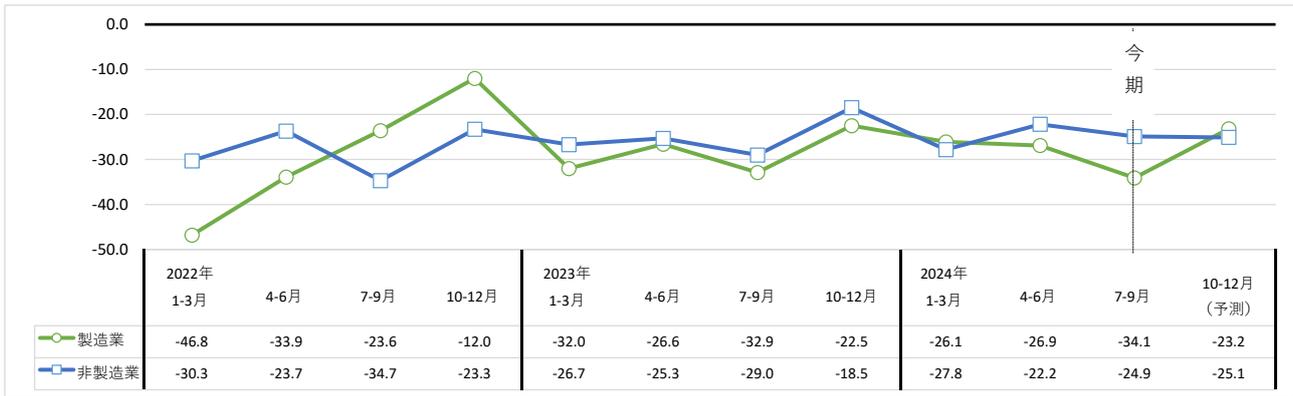


区分1	区分2	区分3	原材料・仕入れ価格（上昇一下落）			
			2024.4~6	2024.7~9	2024.10~12 （予測）	
全体			59.7	55.5	56.5	
規模別	大規模		41.7	58.3	50.0	
	中規模		65.3	61.3	61.2	
	小規模		56.1	51.3	53.1	
業種別	製造業		65.7	61.3	65.8	
		食料品等	55.0	55.0	60.0	
		化学・石油製品等	66.7	77.8	66.7	
		ゴム製品製造業	52.7	47.4	52.6	
		鉄鋼・金属等	79.5	70.6	70.6	
		一般機械器具	60.0	53.3	66.7	
		電信・輸送機器等	30.7	38.4	46.1	
		その他の製造業	77.3	65.9	75.6	
		非製造業		58.2	54.0	53.9
		建設業		57.9	46.7	57.1
		運輸・倉庫業		37.9	34.5	41.4
		卸売業		65.4	58.7	49.4
		小売業		59.2	51.6	47.7
		不動産業		36.4	41.8	40.0
		情報サービス		55.9	55.9	52.9
		宿泊・飲食		91.9	83.9	93.5
		対事業所サービス		46.3	48.4	45.2
		対個人サービス		62.3	60.7	61.7

(4) 採算

「各四半期の採算が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)

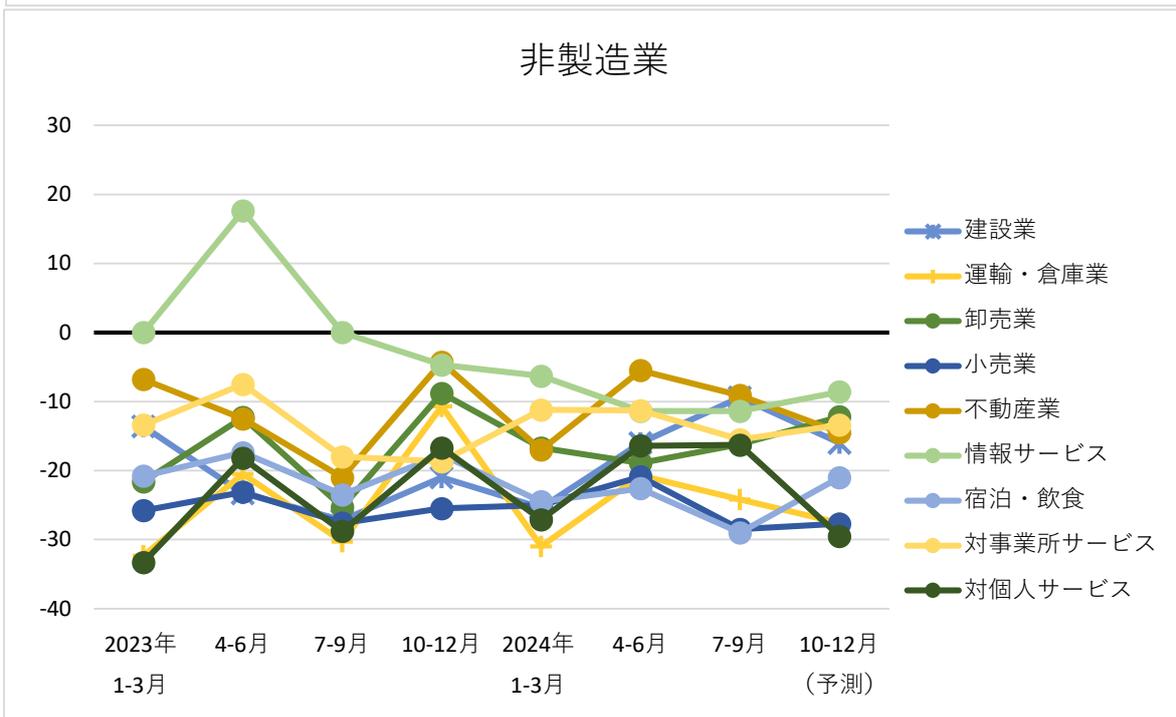
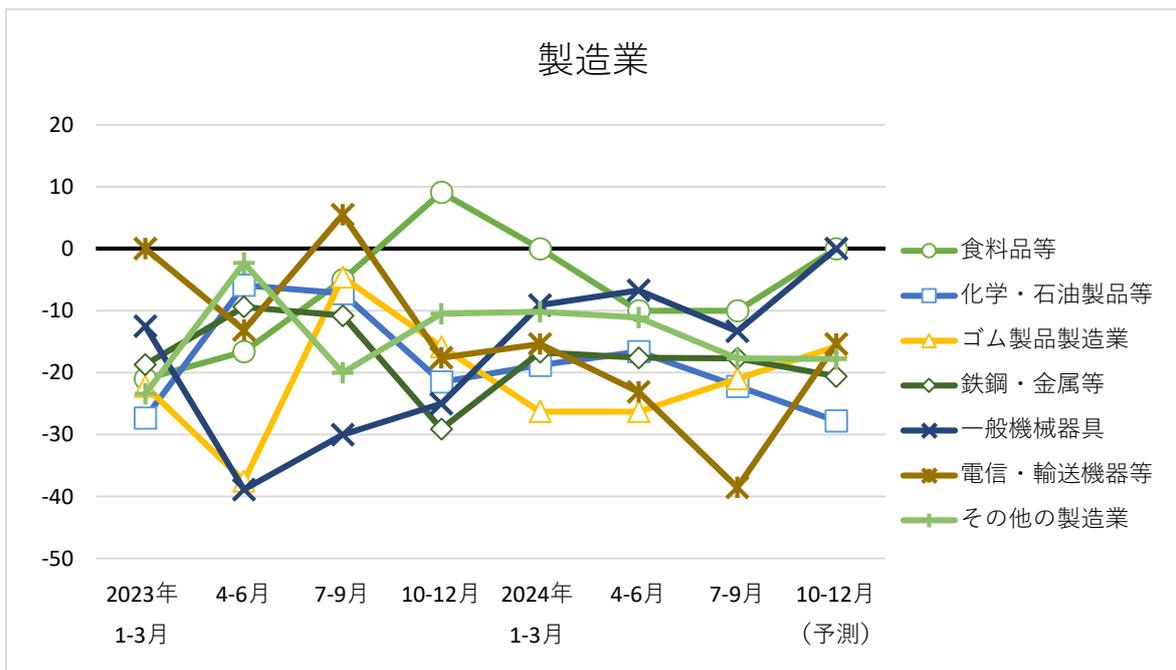
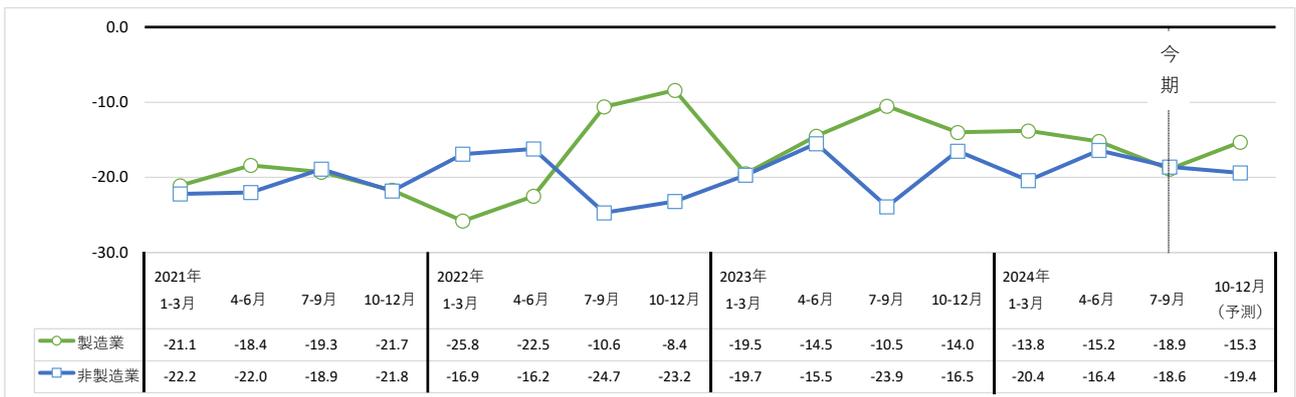


区分1	区分2	区分3	採算（好転－悪化）		
			2024.4~6	2024.7~9	2024.10~12 （予測）
全体			-23.2	-26.9	-24.7
規模別	大規模		33.3	8.3	8.3
	中規模		-14.3	-14.7	-11.7
	小規模		-31.1	-36.7	-35.1
業種別	製造業		-26.9	-34.1	-23.2
		食料品等	-5.0	-30.0	0.0
		化学・石油製品等	0.0	-22.2	-11.1
		ゴム製品製造業	-36.8	-52.6	-42.1
		鉄鋼・金属等	-35.3	-26.5	-29.4
		一般機械器具	-6.7	-13.4	6.7
		電信・輸送機器等	-61.5	-38.4	-46.1
		その他の製造業	-33.3	-44.4	-28.9
		非製造業	-22.2	-24.9	-25.1
		建設業	-33.8	-16.9	-18.2
		運輸・倉庫業	-24.1	-31.1	-24.1
		卸売業	-21.0	-22.4	-19.8
		小売業	-22.9	-36.2	-33.1
		不動産業	-21.8	-20.0	-34.5
		情報サービス	-17.2	-22.9	-14.3
	宿泊・飲食	-27.5	-29.0	-25.8	
	対事業所サービス	-12.3	-15.4	-14.4	
	対個人サービス	-20.0	-27.9	-37.7	

(5) 資金繰り

「各四半期の資金繰りが直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)



区分1	区分2	区分3	資金繰り（好転－悪化）		
			2024.4~6	2024.7~9	2024.10~12 （予測）
全体			-16.1	-18.7	-18.5
規模別	大規模		16.7	16.7	8.4
	中規模		-13.1	-12.2	-14.3
	小規模		-19.3	-24.3	-22.4
業種別	製造業		-15.2	-18.9	-15.3
		食料品等	-10.0	-10.0	0.0
		化学・石油製品等	-16.6	-22.2	-27.8
		ゴム製品製造業	-26.3	-21.0	-15.8
		鉄鋼・金属等	-17.6	-17.7	-20.6
		一般機械器具	-6.7	-13.3	0.0
		電信・輸送機器等	-23.1	-38.5	-15.4
		その他の製造業	-11.1	-17.7	-17.8
		非製造業	-16.4	-18.6	-19.4
		建設業	-16.0	-9.4	-16.0
		運輸・倉庫業	-20.7	-24.2	-27.6
		卸売業	-18.9	-16.2	-12.2
		小売業	-20.9	-28.5	-27.7
		不動産業	-5.5	-9.1	-14.5
		情報サービス	-11.4	-11.4	-8.6
		宿泊・飲食	-22.6	-29.0	-21.0
		対事業所サービス	-11.3	-15.5	-13.4
		対個人サービス	-16.4	-16.3	-29.5

第43回 神戸市内景況・雇用動向調査

<結果報告書>

企画実施：神戸市経済観光局経済政策課
〒651-0087 神戸市中央区御幸通 6-1-12

調査委託：株式会社東京商工リサーチ 神戸支店
〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通 6-1-10